

おめでとう油谷選手



3月15日、油谷選手の五輪代表決定の知らせを受け、母親の油谷綾子さんが松林市長や美祿工高陸上部時代の荒川好一監督（現田部高教諭・上川西1区）など、市内の関係者とともに市役所で記者会見を行いました。

皆さんのおかげです
ありがとうございます



母・油谷綾子さん

松林市長から綾子さんにお祝いの花束が手渡され、綾子さんは感

激の涙を流しながら「皆さんのおかげでこうした結果が出てうれしく思います。ありがとうございます」と喜びを語りました。

「昨晩は気になってよく眠れませんでした」という綾子さんは、テレビのニュース速報で代表決定を知り「やった！という気持ちでした。すぐに息子に電話をしたのですが『正式発表はまだ届いていないから』と普段通りの話し方でした。私から初めて聞いたみたいで、本人も内心びっくりしたと思います」と話しました。

オリンピックに向けては「まずは完走して欲しい。できればメダルをとって欲しいと思います。アテネへは応援に行きたいと思えます」と話しました。

メダルを期待しています



恩師・荒川好一さん

油谷選手の美祿工高時代の恩師の荒川さんは「教え子がオリンピックに出場できるとは夢みたいですね。これまでの実績から代表に選

ばれると信じていました」と満面の笑顔で喜びを語りました。

高校時代の油谷選手については「負けん気の強い子で、当時から自分でコンディショニングがでる選手でした。まさか日の丸をつけて走る選手になるとは思っておりませんでした。小さい体でよくがんばってくれたと思います」と振り返り、「世界選手権での経験をいかし、メダルを期待しています」とエールを送りました。

市を挙げて応援します

松林市長は「長門市から初めてのオリンピック選手の誕生、しかもオリンピックの華といわれる種目ということで、こんなにうれしいことはありません。本番でも市民の期待にきつと応えてくれると信じています。市を挙げての応援体制をつくり、油谷選手の勇気がわくような支援を考えたいと思います」と話しました。

お祝いムード一色

15日、油谷選手の五輪代表決定の知らせを受け、地元の仙崎では、仙崎体育協会など有志によるお祝いの横断幕が仙崎駅舎に掲げられました。また、市役所庁舎にも懸垂幕が掲げられました。

最高の舞台で最高の結果を

一方、油谷選手も、日本陸上競技連盟の正式発表を受け、中国電力陸上部の坂口泰監督とともに広島市内で記者会見を行いました。

油谷さんは「今までつかえていた気持ちがよく取れた感じですが、自分では大丈夫と思っていましたが、正式に決まりほっとしています」と笑顔で語り、「マラソンで世界を目指すのであれば、どうしてもオリンピックに出場したいと思っていました。その夢がかなってとてもうれしく思います。」

県知事に出場決定を報告

3月18日、油谷選手は県庁を訪れ、二井関成知事に五輪出場決定の報告を行い、二井知事から、県が国内外で活躍した選手などに授与する「メダル栄光」を受け取りました。

二井知事は「おめでとうございます。マラソンへの県からの出場は、貞永選手以来44年ぶり、同一県から2人の出場は国内でも2度目の快挙であり、県民として大変誇りに思います。メダルを目指して頑張ってください」と激励。油谷選手は「オリンピックではメダルを目指し、最低でも入賞を目指して頑張ります」と決意を述べました。

「暑い上に難コースと聞いているが」と心配する二井知事に、

出場するからには金メダルを狙って臨みたいと思います。オリンピックという最高の舞台で、最高の結果を出したいと思えます」と力強く抱負を述べました。

入賞が最低ラインの目標

会見に同席した坂口監督は、油谷選手について「天性のものと思うが、マラソンの感が非常に良く、練習の成果をそのままレースに出せる」と評価。「入賞を最低ラインの目標としてオリンピックに臨みたいと思います」と話しました。

油谷選手は「悪条件は自分にとってはプラス。チャンスがあると思っています」と話しました。また、広報の取材に油谷選手は「長門の皆さんの応援のおかげで代表になれました。ありがとうございます。これから金子みずぶさんと私で長門市を盛り上げたいと思います」と明るく答えてくれました。



二井知事と握手をかわす油谷選手